

ジーンズの歴史を着る

復刻版
LEVI'S
Vintage Jeans
catalog

誕生からすでに150余年。リーバイ・ストラウスの歴史は、労働者のための頑強な衣服製作から始まった。その歩みは、今やファッションジャンルの1つとなったジーンズの歴史そのものである。ロデオ会場でレッドタブが存在感を放った1930年代から、大戦下の物資統制によって特殊なモデルを生んだ1940年代、体制に反抗する若者の象徴となった1950年代を経て、多様化するニーズに応え大量生産への道を切り開いた1960年代へ…。それぞれの年代の501を忠実に再現した復刻モデルからは、まるで歴史の書物を読み解くような奥深さを感じることができるだろう。「原点にして頂点」の言葉を高らかに掲げる理由が、ここにある。

TEXT: 久野梨沙 PHOTO: 藤田真樹

501XX 1937Model

品番：37501-0117 価格：21,000円

「リベットはまだそこに」 進化の原点、1937年モデル

1937年、リベットでの衣服の補強が特許を取得して以来、それは丈夫なジーンズの証であった。しかし時代が進むにつれ、馬鞍や車のシート、家具などを傷つけてしまうというデメリットが現れる。そこで1937年、当時の工場長ミルトン・グラントが、リベットの上から生地をかぶせてリベットを隠してしまうという新製法を取り入れた。だが、この改革を浸透させるため、彼らは「リベットはまだそこに」という商品コピーで消費者に訴え続けなければいけなかったという。そんな隠しリベットを忠実に再現したのがこの1937年モデル。時代に合わせ進化する、現代のジーンズの原点がここにある。



特徴
・ボタンフライ
・シンチバック
・隠しリベット
・クロッチリベット
・レザーパッチ
・赤銅製コインポケット
・レッドタブ(古銅ビッグE)

サイズDATA
サイズの種類
W90-08.5H L36
シルエット
裾回り：締め
丈もも回り：丈め
裾幅：丈め



裾部分の生地が用いられたコインポケットもきちんと再現されている



洗うほどに味が出る革製パッチは50年代半ばまで使用された。中央がクロスしないアーキエットステッチも当時のまま



馬鞍などを傷つけないよう考案された隠しリベットは1937モデルの特徴といえるもの。裏側から見ればその存在がしっかりと確認できる



いまやリバイスの象徴としてあまりにも有名なレッドタブは、この前年の1936年に他社の模倣品との差別化のために採用された。片面のみ、ビッグEのロゴが縫われた当時のタブを再現

カウボーイに愛されたジーンズを纏う

復刻版 Lee
Vintage Jeans
catalog

1924年に産声を上げたLeeの「101カウボーイパンツ」
過酷な状況に耐えうる傑出した品質と、機能性から生まれる美しさは
長い間カウボーイのユニフォームとしての地位を守り続けたというその歴史が証明している
後に名前を「ライタース」に変えた後は、銀幕スター、ジェームス・ディーンが愛用
それは都会に住む若者の間で熱狂的な人気を呼び、ファッションアイテムとしての揺るぎない地位を確立していく
ジーンズの歴史を語る上で欠かすことのできない「Lee」
その巨大な存在が荒野から街へと進出していく歴史を、各年代の復刻版とともに追っていく。

TEXT：久野梨沙 PHOTO：藤田真実

Cowboy 1930model

品番：14101 価格：21,000円

Leeの長い歴史の中で 唯一のオレンジステッチ

カウボーイに愛された理由は彼らのために製品に改良を加えていった。その中でも最も有名なものが、ヒップポケットのスレッドリベットである。金属製のリベットでは馬の鞍を傷つけてしまう危険があることから、Xの形の閉止めを採用することで強度を保ちつつ金属リベットを廃したのだ。また、1930年代モデルでのもう一つの大きな特徴はオレンジステッチ。その鮮やかな色はトリプルステッチによつてさらに強い印象を放ち、機能美という言葉の意味を感じる仕上がりだ。当時は手書きによつて描かれたレザーパベルのイラストもプリントで忠実に再現され、デザイン性も高く評価される一本となっている。



特徴
・トップボタンLee UNION-ALLS表記
・ボタンフライ
・シンチバック
・牛革製ラベル(インクジェットプリントによる多色イラスト)
・スレッドリベット
・片側縫製付き生地
・オレンジステッチ
・サイドシームのトリプルステッチ

サイズDATA
サイズの範囲
W28-34 L89.0
シルエット
裾開り：太め
丈も開り：太め
裾幅：太め



レザーパッチの多色使いのイラストは、当時は手書きによって施されていた。この復刻版ではインクジェットプリントを用いて忠実に再現されている



生地はこつこつとした風合いの出る右結デニムで片側のみ青耳がついた生地が使用されている



カウボーイにとって命の次に大事な鞍を守るべく、金属リベットに代って代わったのがこのパツ型スレッドリベット。今ではLeeを象徴するアイコンともなっている



トップボタンは「UNION-ALLS」の取印が入った5字ワイザーボタン。ボタンホールにはオレンジステッチがさらに際立ち、その仕上がりはアートの域だ

復刻版

ジーンズに革新をもたらした銘品を味わう

Wrangler

Vintage Jeans catalog



1947年に初めてのデニム衣類を発売したWrangler。その存在は誕生当初から何にも似ていない革新的なものであった。また作家着としての意味合いが強かったデニムパンツの企画において、初めて、西部劇の衣装デザイナー、ロデオ・ベンを起用。フィット感が強いテーラードスタイルが取り入れられたそのデザインワークは、デザイナーズジーンズの始まりと呼ぶにふさわしいものであった。|ジーンズ|という呼称を初めて用いたWrangler社。そこには今までのデニム衣類とは一線を画す商品を生み出しているという誇りがあったのであろう。革新の精神は、次から紹介する復刻ラインにおいても確実に受け継がれている。

TEXT:久野梨沙 PHOTO:海田真郷

11 MW47-48

品番：W0011 価格：22,050円

デザイナーズジーンズは この1本から始まった

1947年、世界最大のワークウェア製造会社だったブルーベルはWranglerブランドでデニム衣類の本格的な展開を開始。他社の製品がまだワークウェアの面影を多分に残していたのに対し、Wranglerはハリウッドの西部劇衣装デザイナーであったロデオ・ベンを担ぎ、フィット感の高いシルエツトで、今までのデニム衣類とはまったく異なるファッション性の高いジーンズを発表する。ここに、現代に通ずるWranglerの革新の歴史が始まったのである。この11MW47-48モデルは、デザイナーズジーンズの元祖ともいえるWranglerの初期モデルをそのままことなく楽しむことができる作りとなっている。



特徴
<ul style="list-style-type: none"> Wranglerロゴ入り縫製トップボタン ボタンフライ 両耳ラベル (内巻きロゴ) バックポケットのサイレントWステッチ インサイドネーム (内巻きロゴ)

サイズDATA
サイズの種類 W28-34 L88.0 シルエツト 裾開り・膝溝 丈もも開り・丈の 幅幅・股道



インサイドネームにも初期モデルの証である内巻きローラングラーロゴ、「BLUE BELLS」の表記が。当時のインサイドネームはサイズ表記の役目も果たしていた



縫製のトップボタンにはリアルなヴィンテージ加工が施されている。Wranglerの歴史を物語るような造りある風合いだ



旧型織機で織られたセルビッジ付きの高級デニムが採用されているが、シームが密着しているため耳は見えない



ロゴの「W」が流行の外巻ではなく内巻きになっているのが初期モデルの証である。ブルーベルのベルマークが刻印されていないのも特徴。通称「サイレントW」のステッチも忠実に再現